



院長のご挨拶 —withコロナの時代を迎えて—

年頭のご挨拶で、本年は日本中が湧きたつオリンピック・イヤーとご紹介致しましたが、残念ながら、大変な年になりました。新型コロナウイルス感染症が、突如として発生し、その感染拡大の波が世界を飲み込んでしまったかのような印象です。そして、私たちの生活が一変してしまっただけで、ご周知のとおりです。

新型コロナウイルス感染症について、二つのこととお話したいと思います。一つ目がこの感染症が収束するまでの感染対策についてです。今回の新型コロナウイルスは、最後まで地上に残り、しばしば感染の流行を繰り返すのかもしれないが、ワクチンの開発などにより、多くの人々が未知のウイルスへの抵抗性を獲得した時、「季節性インフルエンザ程度の感染症」として扱われるようになる可能性が高いと考えられます。しかし、それまでは感染対策を適切に行わなければなりません。有効な治療薬が十分でない現在、高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重篤化し、生命の危機にさらされます。従って、皆が免疫を獲得するまで、いかに確実に感染対策を行うかが重要になります。大和高田市立病院では、現在、職員全員が自分自身の感染対策を徹底した上で、下記のような**厳しい感染対策**を実施しています。

■**玄関でのトリアージの実施(来院者全員にマスク着用を義務付ける)**

■**入院患者さんの面会は、基本的にお断りさせていただく**

■**全身麻酔で手術を受けられる全患者さんに、術前のPCR検査の実施(予定)**

これらの対応は、感染対策の基本はウイルスを院内に持ち込ませないことと考えているからです。ただ如何なる施設においても同じことが言えますが、どんなに感染対策を行っても、完全には感染を防ぎきれものではないことは申し上げるまでもありません。

皆さんにお伝えしたい二つ目のことは、**この感染症を過度に怖がり、受診控えをして、本来治療すべき病気が見逃されることがないように**していただきたいということです。実際に、様々ながん等の生命に関わる病気で、「もっと早く検査を受けていただければ、治せた可能性が高いのに」という話を、多くの医師から聞くようになりました。病院は、病気を治すところですが、患者さんが来院されないとい何もできません。

私たちに、皆さんの病気を治すチャンスをください。

私たちは、地域の皆さんに安心安全の医療を提供できるように、常に準備をしておりますので、お身体に心配なことがございましたら、きちんとマスクをして、受診をしていただきますようお願い致します。

さらに、当院では、季節性インフルエンザの流行する冬季に備えて、新型コロナウイルス感染症に対する検査体制をより一層充実させる方針です。私たちは、地域の基幹の自治体病院として、このwithコロナの厳しい時代を、地域の皆さんと一緒に乗り切りたいと願っておりますので、引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。

令和2年9月1日

大和高田市立病院 病院長 岡村隆仁



大和高田市立病院

〒635-8501 奈良県大和高田市磯野北町1番1号

TEL 0745-53-2901 (代)

<http://www.ym-hp.yamatotakada.nara.jp/>

広報チーム
2020.9.1